

平成4年3月発行

国際交流



# ふねあいのひろば

第7号

発行  
岡山市国際交流協議会  
岡山市役所秘書課内  
〒700 岡山市大供1-1-1  
TEL. 0862-25-4211



洛陽韶樂公演(1991年11月3日、於岡山シンフォニーホール)

## 祝 岡山市・洛陽市友好都市縁組10周年

1991年は、岡山・洛陽両市が友好都市縁組を締結して10周年という大きな節目の一年でした。

これを記念して、岡山市民親善訪中団の派遣、洛陽市での岡山展覧会の開催、洛陽韶樂の岡山公演等、多彩な行事が繰り広げられ、両市の絆は一層強まりました。

(関連記事P4～7)

## 梶谷会長!! 長い間お世話になりました

1991年4月25日に開催された総会をもって、梶谷忠二氏が会長を勇退され、新会長には岡山大学名誉教授、小坂淳夫氏が就任されました。

梶谷氏は、1985年4月、本協議会設立以来、会長として国際交流の推進に多大な御尽力をいただきました。また、梶谷氏からの寄付をもとに設置された本協議会基金も毎年着実にその果実を増やしており、活動に有効に活用されております。

この場をお借りして、長年の御貢献に心から感謝申し上げますとともに、今後ともお元気にお過ごしください。よろしくお願いいたします。



国富理事から花束を受ける梶谷氏



### ごあいさつ

名誉会長（岡山市長）  
安宅敬祐

本協議会は、設立以来、4姉妹・友好都市との交流をはじめ、広く諸外国との交流を深めてまいりました。皆様方の日頃の御協力に対しまして、心から厚くお礼申し上げます。

さて、世界情勢がめまぐるしく変動する昨今、日本の役割は日ごとに増大しております。特に、『アジアの中の日本』としての期待は大きく、その意味でもこの一年間、岡山市・洛陽市友好都市縁組10周年を記念して様々な事業を展開したことは、誠に時宜を得た意義あることだと振り返ることができます。

1992年は岡山市・プロブディフ市姉妹都市縁組20周年を迎えますが、今後さらに世界に目を向けた地域レベルの活動が必要になってくるでしょう。

また、今年5月には『西川アイプラザ』内に『友好交流サロン』を開設し、市民と外国人の方々が気軽にふれあえる場として提供し、外国人が生活しやすいまちづくりを目指しております。このためにも本協議会の幅広い活動が期待されます。

どうか、会員の皆様におかれましても、今後一層の御理解と御協力を賜りますようお願いいたします。



### ごあいさつ

会長  
小坂淳夫

会長という要職をお受けし一年の経過した今も、岡山の国際交流の舵取り役という責任の重さをひしひしと感じております。

前会長の梶谷忠二氏は、本協議会発足当時から会長として国際交流の推進のために献身的に御尽力してこられました。ここに改めて深甚なる敬意を表するとともに、今後とも岡山市の国際化と会員・市民の国際理解の促進のためにお力添えを賜りますようお願い申し上げます。

さて、1991年度は岡山市・洛陽市友好都市縁組10周年を記念して様々な行事が実施されたほか、他の3姉妹都市との交流はもちろん、インターナショナル・ウィーク事業参加など、国境を越えた草の根レベルの交流が一層進展いたしました。

これもひとえに会員の皆様方の御理解と御協力の賜物と心から感謝しております。

1992年は岡山市とブルガリアのプロブディフ市が姉妹都市の契りを結んで20周年という記念すべき年にあたり、本協議会も多くの記念行事に参画する予定であります。

今後とも本協議会の活動に対しまして皆様方の一層の御参加をお願い申し上げます。



## 岡山市・プロブディフ市 姉妹都市縁組20周年によせて

駐日ブルガリア大使  
コンスタンティン・グラヴァナコフ

岡山市・プロブディフ市姉妹都市提携20周年にあたり、岡山市民の皆様  
心からお祝いの言葉を申し上げます。

1972年の提携以来、両市の姉妹都市関係は日本とブルガリアの両国民の理  
解と友好に大きく貢献してまいりました。

振り返ってその歴史を見る時、岡山市とプロブディフ市は両国間に現存する唯一の姉妹都市として相互の  
心豊かな協力と敬意を長年に渡り培ってまいりました。両市の果たしたこの大きな役割は誠に満足に値する  
ものであります。

遠隔の地でありながら、プロブディフ市と岡山市は代表団の派遣、文化、芸術、スポーツの各分野におけ  
る公演等のさまざまな企画が実現されてきましたし、今後も更に交流は拡大して行くものと思われま  
す。

さて、1992年は両市の姉妹都市提携20周年にあたり、相互訪問団交換、100周年を迎えるプロブディフ国際  
見本市への広報参加、そして更に文化関係諸行事の開催等一層充実したプランを計画しております。こうい  
った諸案を含む両市の交流推進において、岡山市国際交流協議会のこれまでの御尽力に感謝し、なお今後と  
も、御協力を期待する次第であります。

最後に、この場をお借りして、美しい岡山市の市民の皆様今後の御成功と御繁栄、お幸せを心からお祈  
りいたします。

## プロブディフ市紹介



岡山大学留学生  
クレモフ・バレリ

私の国ブルガリアのプロブディフ市と岡山市が姉妹都市となって20周年になります。日本でもブルガ  
リアはヨーグルトで有名ですが、姉妹都市ということ  
をあまり御存知ないと思いますのでプロブディフ  
市の紹介をいたします。首都はソフィアですが、プ  
ロブディフ市はブルガリア第二の都市です。産業の  
中心地で8千年の歴史をもつブルガリアの最古の町  
です。小アジアーヨーロッパを結ぶルートと中央ア  
ジアーギリシャを結ぶルートとが、交差する地点に  
あったため、戦略上の拠点でした。旧市街には古い  
遺跡や民族復興期の建築様式の建造物が狭い石畳  
の路地に数多く残っています。ブルガリアはヨーグル  
トとバラの香油が特産です。特にバラは世界の香水  
の7割をまかっています。5月にバラの花が咲く  
時期にその場所を通ると、真っ青な空と透明な雲、  
その下に広がる緑の葉と深紅のバラでまるで神様の  
庭にいるような気分になります。香油のためにバラ  
は赤だけを作ります。このバラの谷間のすぐ近くに

プロブディフ市は位置しています。皆様もプロブディフ市に行かれたときには、この光景を一度ご覧になられることをお薦めいたします。

バレリさんは、1990年4月から岡山大学工学部  
情報工学科で情報処理の勉強をされており、奥さんとお嬢さんはブルガリアに残しての単身留学で頑張っておられます。(写真左が筆者)



◀旧市街地の建物

▶バラを摘む女性



## 岡山市・洛陽市友好都市縁組10周年記念

# 岡 山 市 民



### ◀ 岡山空港での出発式

台風19号の通過で出発が危ぶまれたが、明け方には風雨もおさまり一安心。団員一同、期待に胸を膨らませながら、チャーター機で元気に出発した。

### ▶ 洛陽空港で熱烈歓迎

洛陽空港に降り立った団員は、張世軍市長代理をはじめ多くの関係者に握手と拍手で迎えられた。

また、空港内では手に花束や扇を持って歌い踊る子供達や鼓笛隊の合奏により、歓迎が盛大に催された。



### ◀ 洛陽市人民政府表敬訪問

張世軍市長代理は、「両市の友好は両国の友好にも役立つ。友情を永遠に発展させたい。」と挨拶。

これを受けて、安宅市長は「中国には温故知新という言葉があるが、これを機会に両国、両市の新しい交流を始めたい。」と挨拶した。

### ▶ 洛陽市主催歓迎レセプション(於 友誼賓館)

河南省、洛陽市関係者等多数との歓談を楽しみ、カンペイ！カンペイ！の声が終始響き渡った。洛陽側からは中国の歌やファッションショー、岡山側からは訪問団有志による大正琴の演奏や扇舞が披露され、宴を盛り上げた。



# 親善訪中団



洛陽市との友好都市縁組10周年を記念して、9月28日から10日間、安宅敬祐岡山市長を団長とする総勢163名が中国を訪問しました。行程中、9月29日～10月2日の間、洛陽市を訪れ、記念行事等に参加して親善を深めたほか、上海・西安・北京にも立ち寄り、中国悠久の歴史を満喫しました。

## ◀ 両市の末永い友情を誓って

工業貿易センターで開催された岡山展覧会(次頁参照)の開幕式に出席。会場に展示された洛陽市から岡山市への記念品「唐三彩の牡丹絵」を前に両市長が固い握手。なお、岡山市は新たな友好の時を刻むホール・クロックをプレゼントした。



▲元気な子供達の姿に心が和む(小学校訪問)

## ▼ 中国仏教発祥の地白馬寺の山門前にて



## ◀ 中国三大石窟の一つ龍門石窟を見学



## 文芸の夕べ▶

洛陽市民により、洛陽韶樂、古琴や胡弓の演奏、伝統舞踊をはじめ日本の舞踊(写真)等が披露され大喝采を浴びた。(この夜出演した洛陽韶樂文芸団の一行は、11月3日、岡山シンフォニーホールで公演して友好親善に努めた。〈次頁参照〉)



# 岡山展覧会

9月30日から1週間、洛陽市内の工業貿易センターで「岡山展覧会」が開催されました。岡山市内の16企業2団体の協力による家電製品、農機具、家具等のほか、岡山の物産品や写真パネル等、合わせて約8,500点が展示されました。また、展覧会の設営・準備のため企業関係者一行7名が洛陽市を訪問し、大活躍しました。



## 市民で賑わう会場 ▶

会期中の7日間で、述べ15万人の洛陽市民が訪れ、熱心に見学したり、係員に質問するなど、大変な人気を博し、大きな成果を収めた。

## ◀オープニングでのテープカット

多数の市民が見守る中、ファンファーレが鳴り響き、爆竹が炸裂し、拍手と歓声の中、賑やかに開会式が行われた。



# 洛陽韶樂



## 公演を鑑賞して

会員 大河原次雄

昨年11月3日文化の日、新装なったシンフォニーホールに於て、岡山洛陽友好都市縁組十周年記念事業として、洛陽韶樂（宮廷音楽）が公演された。

一行は洛陽市文化局喬紫昇局長と洛陽歌舞団の二十余名で、各種伝統楽器と共に、古代楽器の編鐘（二十余個の青銅製釣鐘）編磬（三十余の石磬をつるしたもの）までわざわざ持参しての本格的中国音楽の演奏であった。

私は昨年九月に成都、重慶、長江下り15日間の中国旅行をし、各地で中国音楽で旅情を慰められた。特に武漢の博物館では1978年中国湖北省で発掘された2400年前の大小65個の鐘で構成された編鐘に接し、その大きさ、音色の美しさ、音階の正しさに驚嘆させられ、中国芸術の底の深さに敬意を表していた。

11月、李延齡洛陽市人民政府对外友好協会副会長を団長とする『洛陽市韶樂文化芸術代表团』一行25名が来岡し、岡山シンフォニーホールの開館を記念して公演が催されました。

その日岡山市より招待された二千の市民は、はじめて見る豪華絢爛たる宮廷音楽に完全に魅了され、ホールは二時間半にわたり絶讃の激しい拍手にわいた。その感激は思わず撮った写真を見る毎に思い出される。



## ～洛陽・岡山友好の歌～

1991年4月6日、友好都市締結10周年を迎えた洛陽市と岡山市の友好を称えて洛陽市でつくられました。作詞は、洛陽市歌舞団団長李建華氏。同氏は、11月3日、岡山シンフォニーホールで開催された古都洛陽に伝わる宮廷音楽「洛陽韶樂」公演の際、団員として来岡し、この歌を他の団員と共に岡山市民に披露されました。

The musical score is written in 3/4 time and consists of 13 staves. The lyrics are in Chinese characters. The score includes a key signature of one flat (B-flat) and a 3/4 time signature. The lyrics are: 我 們 的 歌 聲 多 么 嘹 亮 歌 兒 插 上 金 色 的 翅 膀 洛 陽 岡 山 岡 山 洛 陽 歌 聲 飛 越 遼 瀾 的 海 洋 歌 唱 吧 朋 友 縱 情 的 歌 唱 註 友 誼 的 歌 聲 世 世 代 代 飛 揚 世 世 代 代 飛 揚 註 友 誼 的 歌 聲 世 世 代 代 飛 揚 世 世 代 代 飛 揚

作詩：  
洛陽市歌舞団  
団長 李建華

作曲：  
洛陽市音楽協会  
主席 胡昭俊

### 歌の意味

金色の翼をつけたこの歌が、私たちの澄んだ歌声とともに、果てしなく広い海を飛び越え、あなたのもとにやってきました。洛陽と岡山 岡山と洛陽。

さあ、友よ、思う存分に歌いましょう！ いつまでも、いつまでも、この友好の歌を断やすことなく……。

ニイハオ  
你好!!

第 4 回

洛陽市

洛陽市から、日本の先進技術を学ぶために、9月18日、技術研修生7名が来岡しました。

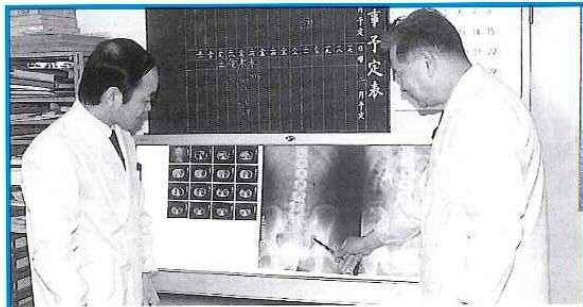
研修生は一年間岡山に滞在し、それぞれの専門分野の研修を受けるとともに、市民と友好親善を深めながら、毎日元気に頑張っています。

(研修生の紹介①職業・所属等②研修先③研修内容)

洛陽市技術研修生を囲む会



▲洛陽市技術研修生を囲む会('92.2.15. 於アークホテル) 上手になった日本語であいさつする研修生



許青山

- ①洛陽医学専門学校付属病院主治医師  
②岡山市立市民病院 ③泌尿器科・外科

〈研修生から一言〉

市内は非常に衛生的で、人々も大変親切です。また、日本の医療水準は高く、診療に使う機器が素晴らしいと思いました。市民病院での勉強を通じて、先生方からたくさんの経験や技術を身につけていただいています。ここに市役所の皆様や市民病院の先生方に感謝の気持ちを表します。



羅伝偉

- ①洛陽工学院講師  
②岡山大学  
③日本語・日本語  
機能概念教育法

〈研修生から一言〉

中国ではただ机上での理論的な日本語学習にすぎなかったため、言葉の応用がなかなかうまくできませんでした。祖国での日本語教育の充実と岡山・洛陽両市の友好交流のために、今の素晴らしい環境の中で聞く能力と話す能力を向上させるために努力しようと思っております。



楊宗霄

- ①洛陽工学院講師  
②岡山理科大学 ③機械工学

〈研修生から一言〉

材料力学研究室の細川先生とシステム工学研究室の逢坂先生のもとで一年間研修できて、とてもうれしく思います。機械に関するコンピュータの応用というテーマで研修期間中ずっと研究する予定です。日本の先進的な科学技術を身につけて母国の発展に貢献し、中日特に両市の友好親善のために努力したいと思っています。



# 技術研修生来岡



## 劉貴生

- ①洛陽工学院助教授
- ②岡山理科大学 ③機械工学

〈研修生から一言〉

洛陽市と岡山市の友好都市締結10周年の年に技術研修生として美しい岡山市に来ました。いま岡山理科大学工学部の藤田研究室で研修しています。藤田先生は“歯車の強さ”の分野でとても有名です。期間中、一生懸命勉強するとともに、中日両国の友好のために頑張りたいと思います。

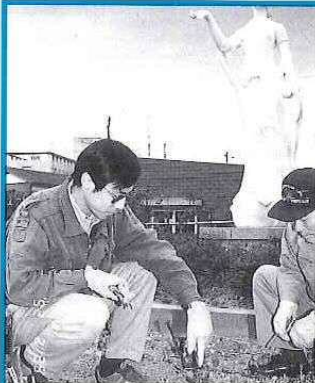


## 任麗達

- ①洛陽市中医院主治医師
- ②総合病院岡山赤十字病院小児科 ③小児科

〈研修生から一言〉

岡山市は清潔で住みやすい街です。人々は礼儀正しく、知識も豊か、親切で勤勉、そして責任感が強いという印象を受けました。また、日本の医療水準は世界でも一流で、学ぶことは広範囲にわたります。今後も引き続き勉学に励み、研修成果を洛陽市で役立てていきたいと思っています。



## 申建勳

- ①洛陽市農業技術普及センター職員
- ②岡山市役所経済局農林部農林水産課
- ③花卉園芸

〈研修生から一言〉

岡山市役所農林水産課と秘書課の皆様の多大なる御協力のおかげで多くの知識を得ることができ、研修自体も大変順調に進んでいます。また、日常生活でも、いろいろと御配慮をいただいています。一年間の研修が有意義かつ実り多いものとなるよう、引き続き努力していきたいと思っています。関係者の皆様の御高配並びに御協力に心から感謝申し上げます。



## 李剛

- ①洛陽市第十設計院技術員
- ②石川工業㈱
- ③機械製造

〈研修生から一言〉

日本経済の発展は日本人の努力によるものだと思います。仕事での「相互協力」の精神に感心させられると共に、高い教育水準、日本人の博識と礼儀正しさに大変良い印象を抱いています。多くの人々との交流を通して、日本人への理解も深まりましたが、集団意識による複雑な精神構造ゆえに、今一つ彼らの性格が理解できないのも事実です。

## サンノゼ市訪問

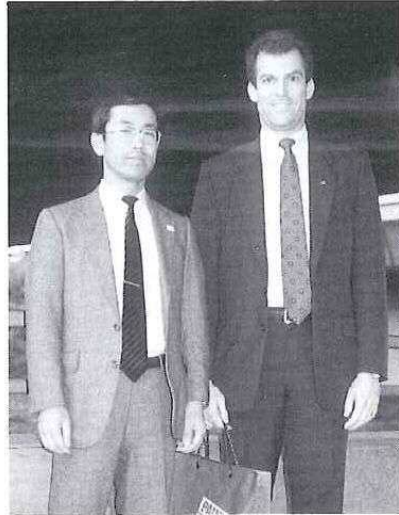
岡山市助役 高島 進

本年1月22・23日の両日、ちょうど他の要務でカリフォルニアの各都市を視察する日程があったので、サンノゼ市を訪問しました。

シリコンバレーを後背地に有するサンノゼは、引き続き半導体不況等で必ずしも経済的に好調とは言えないようですが、折りしもサンフランシスコを本拠地とするプロ野球のジャイアンツを誘致する話が具体化しつつあり、市民の明るい話題になっていました。

あいにく当日はハマー市長が出張中でしたが、ソーセド副市長とお会いし、両市間の交流に関する案件について意見交換をしました。今年で35年間という長い交流の絆で結ばれている両市は、この間のそれぞれの発展によってますます相互の期待、役割が高まっているといえます。その意味でも、長いが故に形式的なものに陥ることのない、堅実で多面的な交流の必要性を再認識しました。

ごく短い滞在でしたが、サンノゼの多くの人々とお会いし、両市間交流の歴史に思いをはせ、明日の交流のさらなる発展を期しながら同地をあとにしました。



サンノゼ市国際貿易開発センターディレクター スティーブ・ワイナー氏と

# ★★★★ サンノゼ訪問の記 ★★★★★

## MOZART ACROSS THE PACIFIC

会員 谷村 郁之

昨年はモーツァルトの没後200年に世界中が沸いた年。私の所属する岡山市民合唱団鷺羽もその例外ではなく、昨年5月、初めての海外公演としてアメリカ公演（於カーネギーホール及びサンノゼ・聖ヨゼフ大聖堂）を行い、現地の合唱団と〈レクイエム〉を演奏した。

これらの公演を通じて「音楽は万国共通語」との思いをより深くしたのだが、とりわけ思い出深いのが、サンノゼ・シンフォニック合唱団とのジョイントコンサート。

それは、何よりもすべてに渡って、ボランティアとして私達を支えてくださったシスターシティ・サンノゼの方々の、私達日本人には考えられない程の献身的なお世話によるものである。「感動こそ人生だ。」と常々思うのであるが、それを享受できる陰には、いわゆる名前のない人々の努力があることを改めて感じた次第である。

今後も、こうした人生を送りたいと思う一方、私達が国際理解・国際交流をより深めていくには、カローシという英語が外国の辞書からなくなってしまう真の意味でのゆとりある社会（生活大国）を築くことが必要不可欠である、と痛感する今日この頃である。



サンノゼ聖ヨゼフ大聖堂にて（最後列右から3番目が筆者）